

《どうでもいい話、その 537》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！ 毎日暑いですねー！ 残暑お見舞い申し上げます。

先々週にやっと明けた今年の梅雨は長く、我が家の洗濯機は乾燥機付きではないので、係りの私は干すのに困り、洗濯したものをカゴに入れ近くのコインランドリーに初めて行きました。店に入ると洗いから乾燥までのフルコースと乾燥だけのコースがあります。10台ほどある乾燥機のほとんどは運転中でしたが、1台だけ空いていたので、他の人に取られないように急いで洗濯物をドラムの中に入れ、10分100円なので300円入れました。そしてスイッチのボタンを押したのですが動きません。よく見ると上下二段ある乾燥機で、こちらは上の段でしたが運転中の下の段にコインを入れてしまいました。そして注意書きを見ると「一度入れたお金は返金できません」と書かれています。「そんなー、これじゃーコイン乱取りーだ！」仕方なく上段の乾燥機にまた300円を入れスイッチONするとただちに円筒状の乾燥機が回転し始めました。回転につれて、洗濯物が巻き上がっては落下し逆に回ったりと、踊り狂い舞い上がります。シャツもパンツも急に生き物になって喜び、狂喜乱舞とはまさにこのことです。さっきまで暗い洗濯機の底にへばりついていて、きっと辛かったのでしょう、急に明るく暖かいところに連れてこられ喜んでいるのです。「よかった、よかった、しばらく楽しんでね！」と言い30分後に戻ってくると、洗濯物は、欣喜と躍動のひと時が去り、密集・密接・密閉の3密を満喫しながら暖かく静かに休息しているのです。

岩波より